

花巻空襲を撮影した航空写真の発見について

昭和20（1945）年8月10日の花巻空襲について、米軍機が上空から撮影した写真2点及びその報告書を含む太平洋戦争資料を米国国立公文書館の資料から発見し、入手したので報告いたします。

1. 入手した資料

米国国立公文書館所蔵航空機戦闘報告書（マイクロフィルムのリールA1837番）

2. 資料内容

花巻空襲を実行した米国海軍空母ハンコックの艦載機である第6飛行隊（指揮官ヘンリー・ルイス・ミラー米国海軍中佐）の戦闘報告書全319ページをまとめたマイクロフィルムである。昭和20年7月24日から8月15日までの53回にわたる攻撃の報告書集である。

なお、花巻市のほかに次の空襲の航空写真も収蔵している。

呉（1945年7月24日）、伊丹（7月30日）、岩手陸軍飛行場（後藤野飛行場）（8月10日）、真室川（8月10日）、鳴子細倉鉱山（8月10日）、四日市（7月24日）、上田（8月13日）

3. 写真解説

下記の①と②の写真の間の記述で Obanazawa を訂正し、ICHINOSEKI と記載されているが、写真の地理を昭和23年に撮影された航空写真と比較検討し、さらに空襲経験者から聞き取りをした結果、この写真が花巻空襲のものであると結論を得た。

なお、昭和20年8月10日には尾花沢空襲と一関空襲もあり、写真の撮影場所の記述に混乱があったと推測される。

- ① この写真は桜町1丁目上空付近より北の方角を撮影したものである。写真の下部に逆Y字状の道路が見えるが、宮澤賢治が名づけた「花巻大三叉路」である。この「花巻大三叉路」の少し上で左右に白く見えるのが豊沢川であり、合流している川が北上川である。北上川は一部煙で隠れているが、北から蛇行している様子が伺われる。なお、煙は上町付近から立ち上っており、空襲の初期段階に撮影されたものと考えられる。
- ② 写真の上部を左右に流れているのが北上川であり、中心より左のところに朝日橋がかかっているのが確認できる。また、写真右側には北上川に合流する豊沢川が確認できる。
- ③ 1945年8月10日に撮影された炎上中の岩手（後藤野）飛行場との説明がある。飛行場上空を北西に向かって撮影された写真である。写真の左側に見えるのが和賀川である。

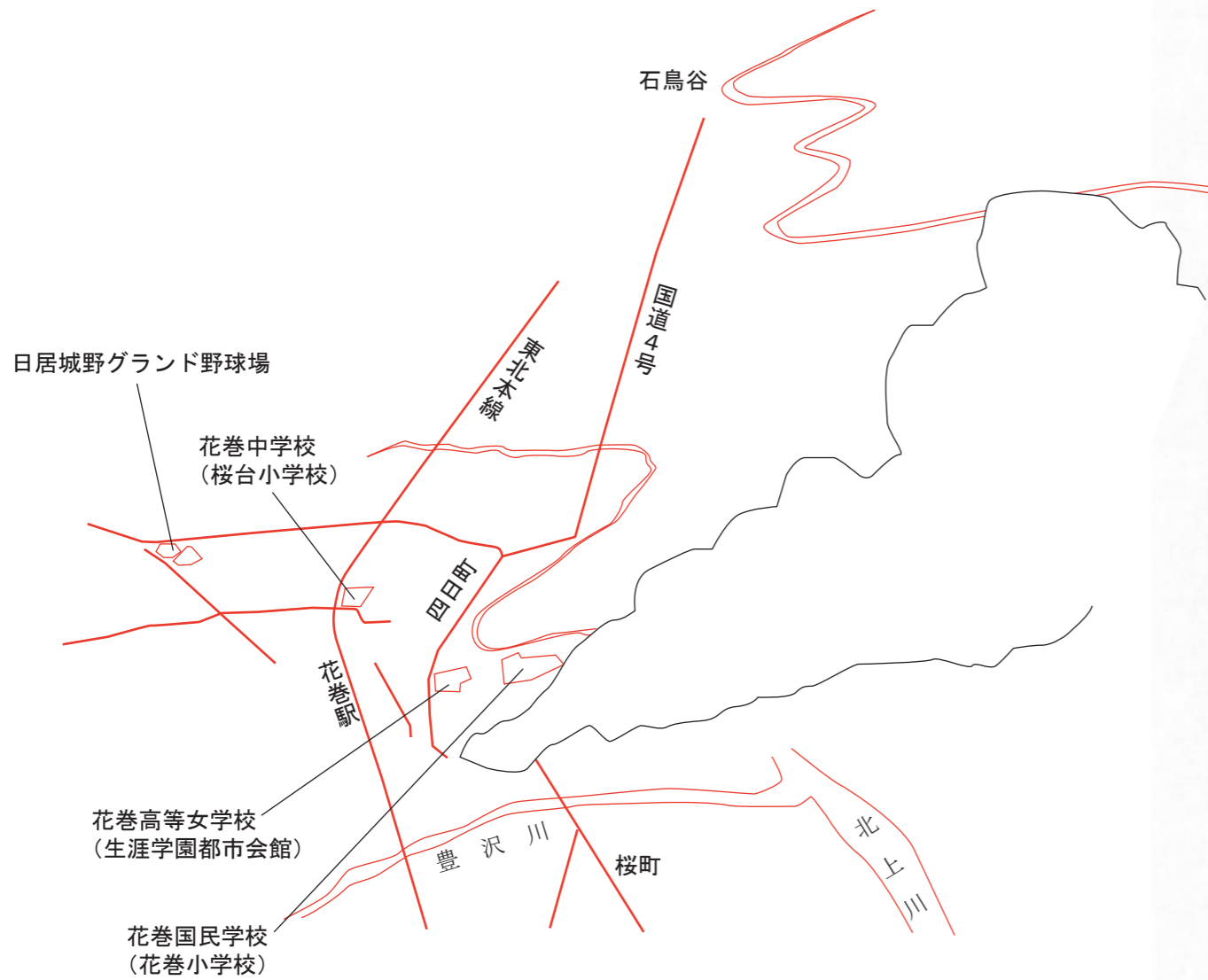
4. 資料の利用について

市総務課に原本を置き、希望者の閲覧に応じます。資料のコピーを希望する場合は、実費にて本庁1階コピー機をご利用いただけます。

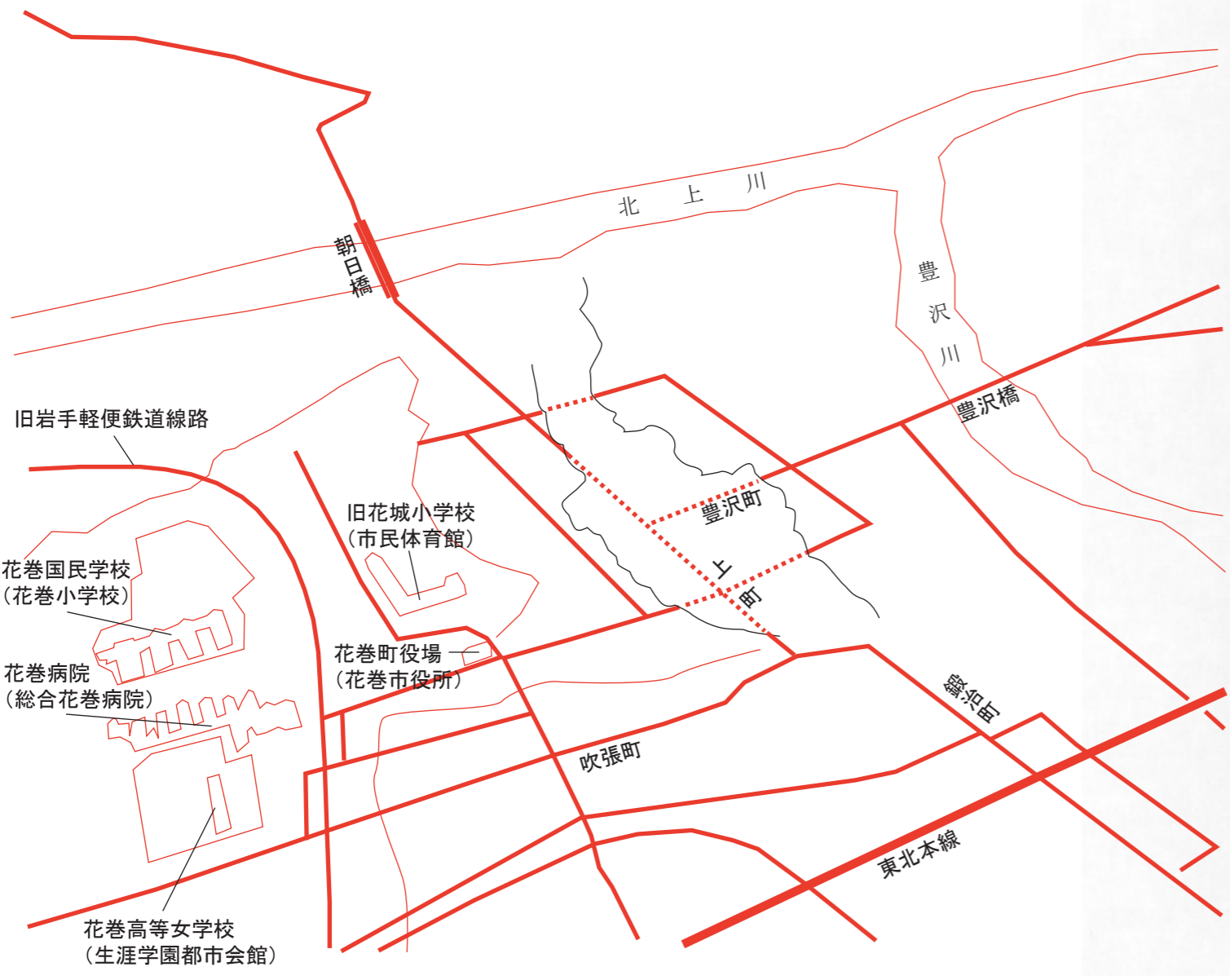
〈担当 総合政策部 総務課 24-2111 内線216〉

令和3年8月10日追記

【資料の利用に関する問い合わせ】 花巻市博物館 0198-32-1030



Fires set in ~~Ichinoseki~~ **ICHINOSEKI** Town, Sendai Area, 10 August 1945.





Fires on A/F believed IWATE (GOTONO) $39^{\circ} 20'$ N. $141^{\circ} 10'$ E.,
North Honshu, 10 August 1945.
